

## \*重要急告事項\*

### 仁雄会創設50周年記念式典のお知らせ

医歯大空手道部、躰道部のOB会である仁雄会は谷口先生の著述によると、谷川讓先生がインターンを終えられた、昭和35年(1960)年に創設されています。従って、昨2010年が仁雄会創設50周年の節目に当たります。ただ、5年前の45周年式典、3年前の躰道部創設50周年式典を行なった関係もあり、1年先送りし本年6月4日(土)18時より式典を行なう事になりました。この会は平成12年から躰道部の顧問をお引き受けいただいた、天笠光雄先生(歯学部顎顔面外科学分野教授)がこの3月にご退官されますので、先生への感謝を表す会を兼ねており、また毎年この時期に行われている新歓コンパも兼ねる形となる予定です。日頃たいへんお忙しい日々を送られている先生方ばかりですが、これだけ幅広い世代が一同に会する機会は大変貴重であり、新鮮な刺激を得られる事が必須でありますので、先生方におかれましては、今からスケジュールを調整し、6月4日(土)には是非とも記念式典にご出席されますようお願い申し上げます。詳細につきましては仁雄会報とは別に4月中旬頃に正式な案内状を発送する予定ですのでお待ちになってください。

#### 記

名称 東京医科歯科大学仁雄会創設50周年記念式典(仮称)

日時 平成23年6月4日(土) 18時より

場所 東京プリンスホテル(芝)

会費 医・歯学部14,000円、パラメディカルおよび保健衛生学科および研修医  
7,000円程度の予定

なお、出席者には本年度の年会費のご請求もさせていただく予定ですので、恐れ入りますが本年度の会費を納入されていない方は、次の振込先までご納入くださいますようお願いいたします。会費は医学部、歯学部卒1万円、パラメディカルおよび保健衛生学科卒5千円です。

加入者名 東京医科歯科大学 仁雄会

口座番号 00130-5- 36708

## \*湯島道場設立のご案内

近年、卒業後も躰道を続ける部員が多くなりました。そのような部員の受け入れ先として「仁雄会附属お茶の水湯島道場(略称：湯島道場)」が設立されることになりました。役員代表である宮下の挨拶文を掲載します。またホームページもできており、詳細は

<http://yushimadojo.web.fc2.com/> をご覧下さい。

### お茶の水湯島道場開設のお知らせ

このたび、現役を引退したOBOGが一堂に会し、お茶の水湯島道場を設立することが決定いたしました。本道場は、躰道の修行を通じて心身の鍛錬を行い、技術の継承・研究・向上を図り、もって躰道の普及と発展に寄与することを目的としています。

さらに、我々は

1. 躰道の術技の研鑽
2. 仁雄会の活動への参画
3. 東京医科歯科大学躰道部員との交流
4. 他道場との交流
5. 各種大会への参加

などを旨とし、その他前条の目的達成の為必要な事業に関しても意欲的に取り組んでいきたいと考えて

おります。お茶の水湯島道場は、**OBOG と現役の架け橋**となる場です。皆様のご指導・ご協力をお待ちしております。お茶の水湯島道場についてご意見・ご質問がございましたら、どうぞお気軽にご連絡ください。 役員代表 宮下宏紀

## \*宮下監督の新聞記事紹介

ご覧になった方も多いたと思いますが、現躰道部監督の宮下宏紀の活動が読売新聞に掲載されました。たいへん栄誉ある事でありますので、ここに全文を紹介させていただきます。

「ジャンプは高く！」  
東京都内の躰道部の道場で、白衣姿の監督が大声を出した。東京医科歯科大（文京区）の学生用建物の5階。監督の宮下宏紀さん（31）は、付属病院の形成外科医だ。  
14日に開かれる全日本大会まで残りわずか。例年ならば、自分の練習の真っ最中だが、選手としての欠場を決めた今年には、全日本へ出場する学生部員の指導に専念する。「自分の日本一の前に、まずは部員たちを躍進させる」。己に言い聞かせた。



空手のような突きや蹴り、これに飛び技や回転も駆使する躰道。大学入学と同時に入門すると、型の美しさを競う「法形」の部で頭角を現し、4年生になった2001年、全日本大会で初優勝。世界大会も優勝し、翌年は全日本を連覇した。  
「授業以外、ほぼ躰道」だった学生生活を終え、04年に

## 文武両道 日本一へ再挑戦



白衣姿で学生部員の指導に当たる宮下さん（東京・文京区の東京医科歯科大で）—栗原裕里撮影

**躰道** 1965年、空手を基に始まった武道。日本躰道協会によると、競技人口は増加しており、同協会の登録会員は2000人強。世界躰道連盟には12か国が加盟する。

「今年は彼らのために全力を尽くすが、来年はまた自分の番だ」。もう一度頂点を目指し、来年選手として畳に立つことを決めた。  
躰道はまだこれからの武道だが、優勝は生やさしいものではない。でも、夢だった医師の道もおろそかにはしたくない。研さんを積むだけ実力が上がるころは、外科医も躰道も同じだと思う。「文武両道を極める」。これが究極の目標だ。  
(土方慎二)

# 外科医の躰道一直線

都立墨東病院（墨田区）に研修医として勤め始めると、環境は一変。宿直や土日返上が当然になった。先輩から「けがをしたら、手術ができなくなる」と言われたこともある。躰道をやめるべきか、一瞬、悩んだが、「体力が向上すれば外科医としても役立つ」。夜11時でも大学の道場へ向かい、終電まで練習した。「時間が無い、は言い訳にならない」。仕事の休憩中に屋上で蹴りを繰り返し、自宅の壁一面には反省点を記したメモを張り付けた。

同じ医師でもある妻の教子さん（30）は「両立は体力的に大変だが、限られた時間を濃密に使っていた」と話す。そんな生活が始まって3年目、06年10月の全日本大会。4年ぶりに日本一の座を奪い取った。決まった瞬間、観衆の目も忘れて競技場に突っ伏して号泣した。「頑張ってたまり込んだ」。

08年、着地の難しい連続回転技を決めると、会場は大きく沸いたが、審判の目には完成度が低いと映り、3回戦で敗退。09年も同じ結果だった。「医師になって最も練習ができた。挑戦もした。何が足りないのか」  
今年4月からは大病院勤務になり、さらに時間が取れなくなった。「悔しいが、今の練習量では日本一を奪還できない」。選手活動の中断を決め、手術や当直の合間を縫って指導に当たる道を選んだ。ただ、後輩たちと一緒に練習するたび、自分の動きは部員に劣っていないとも感じる。

## \*大会結果

**第44回全国学生躰道優勝大会** 平成22年10月9日（土）於東京武道館（綾瀬）

**第44回全日本躰道選手権大会** 平成22年11月14日（日）於Bumb東京文化館

本年度の医歯大躰道部は故障者が続出し、残念ながら団体ものが十分に組めない状況で、予選通過種目はありませんでした。最高は全日本男子団体法形の6位という結果でした。一時に比べ部員の数もまた少なくなってきているので、来年度はそのあたりから底上げをしてほしいと思います。

### **\*平成22年度追い出しコンパ行われる**

医学部医学科の戸出真宏、歯学部歯学科の隈陽一郎、笠原里奈を送る追い出しコンパが、平22年12月11日（土曜）に毎年恒例の新宿の焼き肉屋で行われました。私（柴田）は学会のため不在でしたが、顧問の天笠先生、渡辺先生を初め、OBが15人集合し、盛会のうちに終了したとの事です。さらに二次会では卒業生、新主将と監督・コーチたちとの間で、来年の部活をどうしていくべきかについて熱い議論が行われていたようです。さらに三次会のカラオケでは、例年卒業する先輩方に後輩たちからプレゼントが渡されるのですが、その後、卒業する側から芸のお祝い返しがあったそうで、夜更けまで楽しい会が続いていったようです。OBが参加すると現役部員も喜ぶますので、本年6月の式典に限らず、是非コンパ等にも足をお運びくださいますようお願い致します。